

議会だより

No.161

☆6月定例会	15
☆茨城県へ視察研修	16
☆衆議院議員へ要請活動	16
☆一般質問	17
☆議案等の審議結果	21
☆活動報告	21

発行 麻績村議会
編集 議会編集委員会
〒399-7701
長野県東筑摩郡麻績村麻3837番地
電話0263-67-3001
FAX0263-67-3094

6月定例会

6月定例会は、6月3日から10日まで8日間の会期で開催された。

地球温暖化防止やエアコン等の使用による節電の観点から、上着やネクタイの着用を個人の判断とするクールビズ対応で行った。

本会議第1日目は、諸般の報告として・聖高原リゾート(株)・聖高原管理センターの経営状況に関する報告と、令和7年度の一般会計における繰越明許費計算書報告と、令和7年度の簡易水道事業会計予算繰越計算書報告と議員派遣結果報告がなされたあと、

- ・承認案件 4件
- ・条例の一部改正 2件
- ・令和8年度補正予算 3件
- ・同意案件 2件

の計11件が一括上程された。

本会議終了後、議会全員協議会を行い、上程した議案等の詳細説明を提出者から受けた。承認案件では、3月27日に行った令和7年度一

般会計における最終の補正予算(第8号)、令和7年度国民健康保険特別会計における最終の補正予算(第3号)、3月31日に行った村税条例の一部を改正する条例について、麻績村国民健康保険条例の一部を改正する条例についての説明を受けた。なお、一般会計第8号補正により、令和7年度の最終予算額は36億9570万円となり、当初予算額より6億6千万円ほど増額となった。

条例の一部改正については、一般職の職員の給与に関する条例の一部改正、麻績村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について説明を受けた。

令和8年度補正予算は一般会計において総務費では4月の人事異動に関する人件費、聖高原駅前整備事業関係経費等の増額を、衛生費では堆肥化施設の修繕費等の増額を、消防費では消防団の力向上モデル事業採択による補正、教育費では需用費、修繕費の増額補正を行った。補正額は69,400千円の増額で歳入歳出総額は、2,989,400千円となる。

本会議2日目の5日には、一般質問を行い、7名の議員が村政の執行状況や今後の方針について報告、説明を求めた。

観光業の考え方、空き家・聖高原別荘の現状と今後の方針、放課後児童クラブへのコードモン導入、住民税非課税世帯等の現状



松本広域消防局通信指令室で説明を受ける

や支援について、男女共同参画計画の進捗状況、聖高原駅前整備の進行状況、空き店舗活用整備事業についてなど多岐にわたる質問がなされた。

9日には議員全員で、松本広域消防局の通信指令室、芦澤川石積堰堤、宿泊施設の聖高原別荘の視察を行った。

本会議3日目である10日には、第1日目に上程した議案等11件について審議・採決等を行い、すべての案件で全員賛成により原案のとおり可決した。また議員発議によるさらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保と義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出についても可決された。

諸般の報告

- 第14期聖高原リゾート株式会社経営状況に関する書類の報告
- 第54期株式会社聖高原管理センターの経営状況に関する書類の報告
- 令和7年度麻績村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告
- 令和7年度麻績村簡易水道事業会計予算繰越計算書の報告
- 議員派遣結果報告

請願・陳情等の委員会付託

- 消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める陳情
- さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保と義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める請願(社会文教委員会付託)

専決処分の承認

- 令和7年度一般会計補正予算(第8号)
- 令和7年度国民健康保険特別会計補正予算

算 (第3号)

○村税条例の一部改正
○国民健康保険税条例の一部改正

条例の制定・改正

○一般職の職員の給与に関する条例の一部改正

○麻績村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正

**令和8年度
補正予算**

○一般会計補正 (第1号)

○介護保険特別会計補正 (第1号)

○簡易水道事業会計補正 (第1号)

同意案件

○麻績村農業委員会委員の任命につき認定
農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意
○農業委員会委員の任命

宮下 博文氏
谷口 真利氏
林 昭夫氏
三田 桃子氏

議員 発議

清水美知雄氏
飯森 英哲氏
宮下 剛志氏
柳原 啓人氏
関崎 賢一氏
塚原 茂樹氏

○さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保と義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書

議員全員で草刈作業**地域貢献実施**

第十九期議会議員も就任七ヶ月が過ぎ、職務に努めております。コロナ感染症も、余り

の広場を、草刈り作業を行いました。今後においても地域貢献に努めてまいります。



議員全員によるデイサービスセンターみづき前の草刈り作業

の提出
○議会議員の派遣
閉会中継続調査申出

○議会の運営に関する事項
(議会運営委員会)

閉会中継続審査申出

○消炎鎮痛剤や抗アレルギー薬など、薬の追加負担を行わないことを求める陳情
(社会文教委員会)

県外視察と国会要望

県外の視察と国会議員への要望に行ってみました。視察は茨城県の行方市にある体験型農業テーマパーク、『らぼっばなめがたファーマーズヴィレッジ』におじゃま

させていただきました。昨年からは麻績村の有志が遊休荒廃地利用として取り組んでいるサツマイモ栽培事業のパートナー企業である白ハト食品が経営する施設で、農林水産省の6次産業化企業にも認定されています。

施設内のレストランでサツマイモを使った料理をいただきながら、施設責任者の方に、プロジェクト立ち上げの経緯から、経営理念にいたるまで熱心に説明



茨城県なめがたファーマーズへ視察研修

要望させていただきました。また、聖高原駅前整備事業の計画も説明させていただく中で、藤田議員からアドバイスもいただきました。ご出産が間近な中、丁寧に対応していただき感謝を申し上げます。最後は国会議事堂も視察させていただきます大変有意義な研修になりました。



藤田ひかる衆議院議員へ要請活動

いただきました。国道403号線の下井堀地区と本町交差点付近の拡幅工事の早期完成を

一般質問

質問事項

飯森 寛志

○麻績村観光業の考え方について ○村内火の見やぐらについて

宮下 朗

○聖高原別荘の現状と今後の方針について ○空き家・空き店舗を利用した創業支援について
○公立学校情報機器整備事業に係る各種計画について

山口 利江

○放課後児童クラブへのWi-Fi環境整備について
○放課後児童クラブへのコドモン購入について ○健康カレンダーの見やすさ改善について

塚原 利彦

○住民税非課税世帯等の現状や支援について ○麻績城山の整備と今後の活かし方について
○第10期介護保険計画について ○国政の動向と村政への関連について

刈間 利恵

○男女共同参画計画の進捗状況について ○生活安全について
○4月から運行のデマンドバスについて

高野 秀雄

○聖高原駅前整備の進行状況について ○国道403号及び本町交差点の工事予定について

中村 まり子

○高齢化・担い手不足の農業従事者の平均年齢と今後の見通しについて ○農業と観光を
結びつけた農業体験や地産地消の取組について ○空き店舗活用整備事業について

麻績村観光業の基本的考え方は

持続可能な観光、観光消費額の拡大、 観光誘客を促進する



飯森 寛志 議員

問 自治体観光業の目的は、公益、地域全体の利益と考えるが見解は。

答 自治体観光は、地域振興、地域イメージアップし、より多くの人に来ていただき、地域農業振興、商工業振興等と、いろいろな部分で公益的な部分があると思う。

問 麻績村観光業の位置づけと基本的な考え方は。

答 観光は、地域に新たな価値を生み出す可能性も秘めており、今後の戦略は、地域資源の活用、歴史的建造物や自然環境の活用、また、地域固有の食文化や伝統工芸の見直しと観光商品化、自然体験や農業体験、アクティビティな観光地として、地域の価値を再発見することが大切と思つて

問 観光PR方法、インバウンド向けの多言語の案内板、パンフレット、SNS、ホームページ等の活用や実績については。

答 令和7年度実績で、関東圏の高速道路のSA、道の駅等において、ドライブガイド長野、ふらっと安曇野など紙媒体で8件、ウェブチューブの広告など、媒体2件を出稿している。SNSの発信は月20日程度、ホームページはイベントごとに発信。CMは、ウェブ広告の出稿時にラジオCM等を活用している。インバウンド向けの受入環境状況は、村の公式ホームページ、観光サイト、パンフレットは、英語、中国語、韓国語に対応。インバウンド向けの多言語の案内看板は、県の今年度、宿泊税の市町村交付金などを活用し、看板の設置、改修に向けて検討をしており、旅行者の動向を観光DMP等で活用しながら、観光入り込み客数の増加への取組をしていきたい。

空き家・空き店舗を活用した 創業支援の考え方は

地域活性化の取組みとして考えていきたい

宮下 朗 議員



問 令和の初めの頃より、空き家、空き店舗を利用した飲食店や民泊が村内で数件開業している。今まで村として開業時に支援をした実績はあるのか、また今後開業予定の物件等を把握しているか。

答 村内で空き店舗を活用して飲食店を開業するに当たり、補助の活用という形の中で2件の支援を行ってきた。また現在のところ、1件相談を受けており、開業に向けて準備を進めていきたいということを聞いている。

問 現在、空き家については、登録をすれば片付け、改修等に対して補助があるが、空き店舗については補助対象外である。今後空き店舗まで補助を拡充する考えはないか。

答 空き店舗について

は、あくまでも営業目的ということで、現在のところ、補助金の対象外としている。今後地域活性化に向けた空き店舗の活用というような部分については検討の余地はあるが、現在のところ実施する予定はない。

問 昨年、Aコープ東側の空き店舗を村が取得し、現在改装中になっているが、施設の運営方法や運営主体についてはどのように考えているか。

答 厨房施設を備えた飲食店という形態を継続し、厨房設備を整備する中で飲食店として活用していく予定である。運営方法については現在検討中だが、賃貸契約とする考えである。

問 今は、お試しキッチンやシェアキッチンといった新しい形態も考えられると思うがいかがか。

答 短期契約ではなく持続可能な形での賃貸契約を考えている。

放課後児童クラブへの Wi-Fi環境整備については

入退室管理システム等導入には 必要になるので検討している

山口 利江 議員



問 小学校の宿題において、インターネット環境を必要とするものが増加している。しかし、児童クラブへのWi-Fi環境が整備されてなく子どもたちが利用中に宿題を完了できない状況が生じている。インターネット環境を必要とする宿題が増加している事について、村はどのように認識しているのか。

答 小学校の高学年になるにつれて、ネット環境を要する宿題の出され方があるという事であるが、頻度はそれほど高くはないといった状況。

問 今日の宿題がどこが出ているのかという認識するのは、タブレット連絡帳を見る必要があるかなと思う。

答 児童クラブ施設に

Wi-Fiなどのインターネット環境の整備が進んでいない主な理由は、費用対効果の見極めといった点が一番の理由となる。導入後のランニングコストについては村の経常経費となるので、必要性の有無、導入メモリットなどを含めて検討している状況である。

問 GIGAスクール構想により、学校はタブレット端末が整備されて、デジタルを活用した学習が進んでいる。しかし、そのタブレットが十分に活用できないという矛盾が生じている事についてどのような考えなのか。

答 Wi-Fiの導入に向けたという事で、検討はしているところだが、方針が出せるほど煮詰まってきたという状況ではない。

子どもたちの安全面から、入退室管理など、システム化の導入を図る事も検討している。併せてWi-Fi導入を検討している。

通学定期の補助金は、 購入前に申請し、交付できないか

実績に基づく交付のためできないが、
早期交付に努めている

塚原 利彦 議員



問 麻績村での住民税非課税世帯の年代別の状況と推移は。

答 令和7年度の世帯数は、327世帯で、年代別の人数は、0歳～19歳・20人、20代・7人、30代・9人、40代・16人、50代・35人、60代・44人、70代・109人、80代・109人、90代・91人、100歳以上・12人で、全体的に減少傾向だが、50～60代にかけては増加傾向もみられる。

問 住民税非課税の村民の方からの相談や要望等はある状況か。

答 健康状態、就労関係、生活環境等の要因が重なって困窮している事を、社会福祉協議会や人権擁護委員、民生委員、そして直接に村への相談等を通じて

伺っている。

問 先頃、村民の方から相談があり、お子さんの通学定期の補助に関して、生活が苦しく定期券を、まず自身で購入する資金の工面が厳しい。できれば補助申請したら、補助金を交付してもらい、直ちに購入して役場へ現物を呈示するような方式にしてみたら、との要望を聞いていたが、こうした訴えについての考え方は。

答 この補助金については事前審査は無く、定期購入後、実績に基づいての交付となっている。通学定期に使われない事も想定されるため、ご要望に添った対応は難しい。現在はSuicaの定期も対象なのでインターネットでの購入も可能。早ければ10日から2週間ほどで補助金交付するよう努めており、ご理解いただきたい。

男女共同参画計画の進捗状況は

今年度改めて人選を進め
委員会準備をしている

刈間 利恵 議員



問 計画策定の委員会の人選、条例の制定の検討の進み具合の状況は。

答 昨年度、開催するべく予算計上したが、前回策定から10年が経過して関係団体の状況変化もあり、人選に時間を要し委員会を開催できなかった。今年度改めて人選を進め、委員会開催の準備をしている。委員会では現計画の検証から新たな計画の策定、条例制定の是非などについても協議していく。

問 麻績村の男女共同参画計画のこれまでの達成度をどう評価しているのか。

答 村の計画の中で女性のいない審議会の数、

審議会における女性参画率を指標として掲げており、計画策定時より改善している。

問 2030年までの今後の方針についての考え方は。

答 令和8年度から令和12年度の計画期間における第6次長野県男女共同参画計画では、重点目標の中の1つとして、地域・社会活動に男女共同参画推進がある。少子高齢化、人口減少の麻績村の現状において、地域活動などへの女性の参画が重要。現計画の中で課題の役割分担が女性に偏る傾向を改善し、負担軽減を図る事が必要。社会的、文化的に定義されている性別による役割意識改革、それに基づく行動の働きかけは必要ではと考えている。

聖高原駅前整備の進行状況は

令和10年度末の完成を目指す



高野 秀雄 議員

問 聖高原駅前整備の用地買収の進捗状況と、測量設計の開始時期について問う。設計および本工事の発注に関して、コスト抑制の観点から何社程度で見積もりを行う予定か。また、物価高騰の影響を考慮すると早期の事業着手が望ましいと考えるが、今後の工事着手および最終的な完成予定時期について村の考え方は。

答 用地買収については、現在地権者と順次交渉を進めており、これが整い次第、用地の測量等に入っていく。設計および本工事の発注に関しては、見積もりではなく通常5〜6社程度を選定した上での入札形式を予定している。今後のスケジュールについては、現在国と交付金採択に向けた協議および準備を進めている段階である。今年度中に設計業務を発注し、次年度にはロータリー部分の工事に着手したいと考えている。

問 村民の関心も高い事業であるため、こじれることのないよう地権者と丁寧な交渉を重ねて早期に用地を取得し、物価高騰のリスクを避けるためにも、なるべく早い運用開始に向けて尽力していただきたいがいかがか。

答 全体の完成予定時期については現段階で確定的なことは言えないが、目標としては令和10年度に完成予定を考えている。

当村の農業観光をどのように考えているか

インバウンドに対して研究していく



中村 まり子 議員

問 麻績村における農業従事者の高齢化と、5年後10年後の担い手の確保についてどのように考えているか。

また、新規農業者への支援対策や、若者、移住者の受入れ態勢をどのように考えているか。

答 当村の農業を取り巻く環境については、高齢化や担い手不足の進行により、非常に厳しい状況になっている。農業従事者の平均年齢は72・7歳となっており、高齢化が進んでいる。今後は人口減少の進行とともに、農業従事者数そのものも減少していくことが見込まれる。新たな担い手の確保と育成が重要であり、新規就農者への支

援体制の充実が求められている。「NPO法人おみごと」による農業研修をはじめ、国の制度を活用した経営開始時の支援、農業機械器具の購入に対する補助など、新規就農者への支援に取り組んでいるところである。

問 農業と観光を結び付けた農業体験や地産地消の取組み、インバウンドを見据えた農業の観光利用についての考えは。

答 近年、インバウンド需要の回復に伴い、日本の農村地域における農業体験、食文化体験への関心が高まっていると言われている。今後についても観光部門と連携しながら、農村環境を活用し、小規模自治体ならではの地域交流、農産物の食文化体験といった特色を活かし、インバウンドに対してもしっかりと研究していく考えである。

【議案等の審議結果】 *案件名称のうち、「麻績村」は省略します。

6月定例会

案件 種別	議案 番号	名 称	議員名と賛否						
			高野 秀雄	中 村 まり子	飯森 寛志	宮下 朗	山口 利江	塚原 利彦	刈間 利恵
承認	承認1号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度一般会計補正予算(第8号))	○	○	○	○	○	○	○
承認	承認2号	専決処分の承認を求めることについて(令和7年度国民健康保険特別会計補正予算(第3号))	○	○	○	○	○	○	○
承認	承認3号	専決処分の承認を求めることについて(村税条例の一部を改正する条例について)	○	○	○	○	○	○	○
承認	承認4号	専決処分の承認を求めることについて(国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案1号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案2号	麻績村印鑑の登録及び証明に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案3号	令和8年度 一般会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案4号	令和8年度 介護保険特別会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○
議案	議案5号	令和8年度 簡易水道事業会計補正予算 (第1号)	○	○	○	○	○	○	○
同意	同意1号	農業委員会委員の任命につき認定農業者等が委員の過半数を占めることを要しない場合の同意について	○	○	○	○	○	○	○
同意	同意2号	農業委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○
発議	発議1号	さらなる少人数学級推進と教職員定数改善のための教育予算確保と義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	○
発議	発議2号	議会議員の派遣	○	○	○	○	○	○	○

私たちはこんな活動をしています

5月

- 議会運営委員会
- 東筑議長会臨時総会
- 聖高原を美しくする会総会
- 例月出納検査
- 定例連絡会
- 社協監査
- 全国町村議会議長・副議長研修会
- 有害鳥獣駆除対策協議会
- 松くい虫防除対策協議会
- 安曇野防犯協会総会

6月

- 定例議会
- 議会全員協議会
- 社会文教委員会
- 定例連絡会
- 議会村内外現地視察
- 第1回ふるさと信州のつどい
- 社協役員会・理事会
- サマーナイトフェスティバル実行委員会
- 国会議員要望・県外視察
- 例月出納検査
- 社協評議委員会

7月

- 聖高原駅前整備研究検討委員会視察
- 松本佐久連絡道路建設促進期成同盟会総会
- 塩筑地域包括医療協議会理事会・総会

編集委員

高野 秀雄
中村 まり子
飯森 寛志
宮下 朗

- 造林委員会
- 東筑議長会臨時総会
- 議会だより編集委員会
- 町村議会議員研修会
- 松本広域連合議会臨時会
- 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路建設促進期成同盟会総会
- 青木・麻績インター・新町間県道整備促進期成同盟会総会
- 議会だより編集委員会
- 国道403号道路整備期成同盟会県への要請活動
- 決算審査
- 第1回臨時議会
- 例月出納検査
- 定例連絡会
- 安曇野松筑広域環境施設組合臨時会
- 地域高規格道路松本糸魚川連絡道路長野県側ルート建設促進協議会総会